

平成 30 年 3 月 30 日  
記者発表資料

# 公立学校教職員の人事異動について（平成 30 年 3 月 31 日、4 月 1 日付け）

現在の学校を取りまく様々な教育課題に対応するため、教職員の意欲を引き出し、学校を活性化させることを目的として、適材適所の人事異動を行います。

## 1 人事異動の規模（県所管分）

### （1）教員

（ ）は前年度

区 分	市町村立学校				県立学校				合計
	小学校	中学校	特別支援学校等	小計	高等学校	中等教育学校	特別支援学校	小計	
異 動	984 (1,035)	581 (584)	17 (12)	1,582 (1,631)	830 (872)	15 (12)	298 (348)	1,143 (1,232)	2,725 (2,863)
新 任 管理職	140 (146)	64 (64)	0 (0)	204 (210)	142 (126)	1 (3)	24 (23)	167 (152)	371 (362)
新 規 採 用	364 (366)	206 (214)	5 (4)	575 (584)	370 (372)	0 (1)	129 (135)	499 (508)	1,074 (1,092)
退 職	380 (390)	236 (212)	7 (10)	623 (612)	512 (448)	5 (2)	143 (121)	660 (571)	1,283 (1,183)
合 計	1,868 (1,937)	1,087 (1,074)	29 (26)	2,984 (3,037)	1,854 (1,818)	21 (18)	594 (627)	2,469 (2,463)	5,453 (5,500)

対象は、県所管の公立学校の校長、副校長、教頭、総括教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭

異動には、総括教諭昇任（異動昇任55人、自校昇任410人、合計465人）を含む。

退職には、次年度からの再任用職員561人を含む。

新任管理職は、新任の校長、副校長、教頭の合計人数。

市町村立学校の「特別支援学校等」には、横須賀市立高等学校定時制の異動1人、退職1人を含む。

### （2）教員以外の職員

（ ）は前年度

区 分	市町村立学校				県立学校				合計
	小学校	中学校	特別支援学校等	小計	高等学校	中等教育学校	特別支援学校	小計	
異 動	58 (65)	33 (32)	1 (2)	92 (99)	17 (9)	0 (0)	6 (5)	23 (14)	115 (113)
新 規 採 用	30 (17)	12 (5)	1 (1)	43 (23)	7 (9)	0 (0)	1 (4)	8 (13)	51 (36)
退 職	15 (13)	14 (7)	1 (0)	30 (20)	8 (5)	0 (0)	3 (4)	11 (9)	41 (29)
合 計	103 (95)	59 (44)	3 (3)	165 (142)	32 (23)	0 (0)	10 (13)	42 (36)	207 (178)

市町村立学校：学校事務職員、学校栄養職員

県立学校：実習助手、寄宿舎指導員、学校栄養職員、技術職員

## 問合せ先

---

神奈川県教育委員会教育局行政部教職員人事課

副課長 伊藤 電話 045-210-8135

専任主幹 北村 電話 045-210-8136

(参考)

○ 人事異動の特色

1 県立高等学校長の配置にあたっての考え方

県立高校改革実施計画の円滑な推進に向けた配置を行います。

- ・ 改革対象校の適切な運営に資する配置
- ・ 工業・農業等専門学科高校の充実に資する配置

2 再任用校長の登用

市町立学校が抱える個別の課題に対応するため、校長の定年退職者を新たに再任用校長として採用します。

寒川町立寒川小学校（再任用）

金子 吉則（かねこ よしのり）（60歳）[平成30年3月31日 定年退職]

横須賀市立浦賀中学校（再任用）

丸瀬 正（まるせ ただし）（60歳）[平成30年3月31日 定年退職]

3 女性管理職の登用

女性教員の人材育成と積極的な登用を図っており、平成30年度は119人の女性管理職を昇任させます。

このことにより、女性管理職は全体で463人となり、管理職全体に占める割合は1.0ポイント増の29.8%となります。

(1) 新任の女性管理職

( )は前年度

	新任	左のうち 女性管理職	比率	増減	
				人数	比率
校長	121人 (120)	36人 (38)	29.8% (31.7)	△2人	△1.9ポイント
副校長 教頭	250 (242)	83 (90)	33.2 (37.2)	△7	△4.0 ポイント
計	371 (362)	119 (128)	32.1 (35.4)	△9	△3.3 ポイント

※「副校長、教頭」には、教頭から副校長へ昇任した者を含む。

(2) 管理職全体に占める女性管理職の割合

( )は前年度

	管理職	左のうち 女性管理職	比率	増減	
				人数	比率
校長	676 ( 676 )	179 ( 177 )	26.5 ( 26.2 )	2	0.3 ポイント
副校長 教頭	878 ( 878 )	284 ( 271 )	32.3 ( 30.9 )	13	1.4 ポイント
計	1,554 ( 1,554 )	463 ( 448 )	29.8 ( 28.8 )	15	1.0 ポイント

○ 教員の人材育成

1 市町村立小・中学校と県立特別支援学校との教員交流の実施

地域のセンター的機能を果たす特別支援学校での経験をもつ教員を小・中学校に増やし、小・中学校における校内の支援・相談体制をより充実させるために、市町村立小・中学校の教員と県立特別支援学校との教員交流を実施します。

平成30年度からの交流者数 19人

2 県立高等学校から県立特別支援学校への教員交流

県立高等学校における支援を必要とする生徒の指導や相談・支援体制をより充実させ、インクルーシブ教育の推進を図るために、県立高等学校から県立特別支援学校への教員交流を実施します。

平成30年度からの交流者数 一般教員 16人(左記の他、副校長 2人、教頭2人)

3 藤沢市立白浜養護学校と県立特別支援学校との教員交流の実施

藤沢市立白浜養護学校との教員交流により、県立特別支援学校の地域連携およびセンター的機能をより強化し、相互の一層の人材育成・活用を図るとともに、指導、支援及び相談体制をより充実させるため、教員交流を実施します。

平成30年度からの交流者数 2人(藤沢市立から県立 1人、県立から藤沢市立 1人)

#### 4 教職大学院への研修派遣

本県の教育行政において指導的・中核的役割を担う人材を育成するため、教職大学院に小学校、中学校、高等学校、特別支援学校から各3人の教員を派遣します。

派遣者	12人
派遣先	玉川大学教職大学院 小学校教員、中学校教員 帝京大学大学院 特別支援学校教員 早稲田大学大学院 高等学校教員 横浜国立大学教職大学院 小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員
派遣期間	1年

#### 5 民間企業等への派遣体験研修の実施

社会性や幅広い視野を養うために、民間企業等に派遣する派遣体験研修を実施します。

派遣者	8人
派遣先	製造業4社、金融業1社、小売業1社、宿泊業1社、その他1団体
派遣期間	1年